

ゴールデンウィーク（GW）を心待ちにしている子どもがいる一方で、不安な思いを抱いている子どもや保護者もいるかもしれません。また、これまで登校できていても、長期の休みで心や体に不調を来し、学校や教室に行きづらくなる子どもたちも出てきます。



長い休みは嬉しいけど、休み明けにちゃんと学校に行けるかな…



宿題が終わるかな…朝起きられなかったらどうしよう…



みんなは遊ぶ約束をしているけど、私は何の予定もないな…



子どもの休み明けが不安…先生に相談しようかしら…

そこで、チェックシートを活用してみましょう！

本シートは、新学期から不安を抱えながらも、何とか登校できている子どもに焦点を当て、

- ① 学級担任が、GW前後において気になる子どもの変化に気づき、その子に合わせた支援を行うこと
- ② 不登校の傾向が表れた子どもたちに対して、早期に管理職や学年主任、教育相談担当や養護教諭などが学校として組織的に支援できるようにすることを目的として作成しました。ぜひ御活用ください。

不登校の傾向を見せ始める時期に、気になる子どもを見つけ、すぐに対応しましょう

※ 4月からの子どもの様子を基に判断してください

		登校状況
登校できている	状態0	平常に登校しているが、ときどき気になる行動が見られる
	状態1	遅刻・欠席がしばしばある 又は、保健室登校が多い
	状態2	半分以上の欠席がある 又は、保健室・相談室登校をしている
い登校できていない	状態3～ 状態5	学校以外の施設への定期的な参加ができている ↓ 家族ともほとんど顔を合わせず、部屋に閉じこもっている

【気になる行動】

- [生活]
 - 朝、起きられなくなる（遅刻が増える）
 - 食欲がなくなる（昼食時に食べ残しがある）
 - 生活習慣が乱れてくる
 - [健康]
 - 保健室をよく利用するようになる（教室に居たがらない）
 - 身体症状（頭痛、腹痛、吐き気等）を訴えるようになる
 - [学習]
 - 宿題などをしなくなる
 - 忘れ物が増える
 - ノートをとらなくなったり字が乱れたりしてくる
 - [対人関係]
 - 休み時間に一人であることが多くなる
 - 一人で登下校するようになる
- など

学校ができる不登校支援



担任を中心とした子ども理解

学校全体での共有

子どもの今の現状把握

組織的な対応の検討

初期対応

支援策と支援者の決定



状態の程度を見極めながら、GW前に、特に気になる子どもにはすぐに対応します

担任などの気づきを学校全体で共有し、支援策を組織的に検討していきます

※状態0～5は、『小児心身医学会ガイドライン集』改定第2版」を参考にしています